

部活動地域移行

9月に本格始動する部活動の地域移行。複雑でよくわからないという保護者の方々も少なくないのではないでしょうか。そこで、教育委員会学校教育部指導課でお話を伺ってきました。

Q：なぜ部活動の地域移行を進めるのですか？

A：2つの理由があります。1つは教員の**超過勤務の問題**です。平成31年に制定された「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」では、「1か月に45時間を超えない」という方針が示されましたが、令和2年にはさらに、このガイドラインが法的根拠のある「指針」に格上げされました。平日2時間残業すると既に40時間の超過勤務になってしまい(2時間×週5日×月4週)、学校側が土日の部活動まで指導していくのは不可能です。そこで、令和5年度から令和7年度までが**部活動の集中改革期間**として地域移行を進めていくことになりました。

Q：もう1つの理由は何ですか？

A：今後さらに進んでいく少子化に対応するためです。現在すでに、市内の学校では、単独のチームが組めなくて、夏の大会にどうやって出場したらよいか悩んでいるという部活動もあります。また、生徒数が減ると教師の数も減るため、専門的な指導経験のある先生を割り当てることも難しくなってきます。継続的・安定的な部活動を保障していくための措置として、地域移行が必要になってきました。

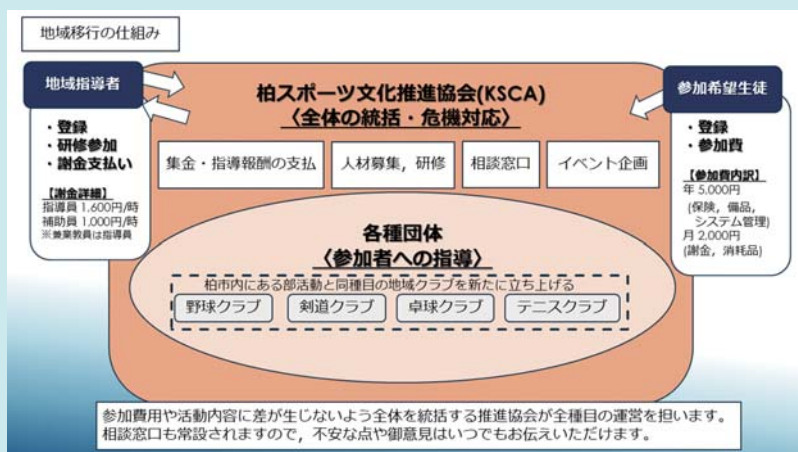
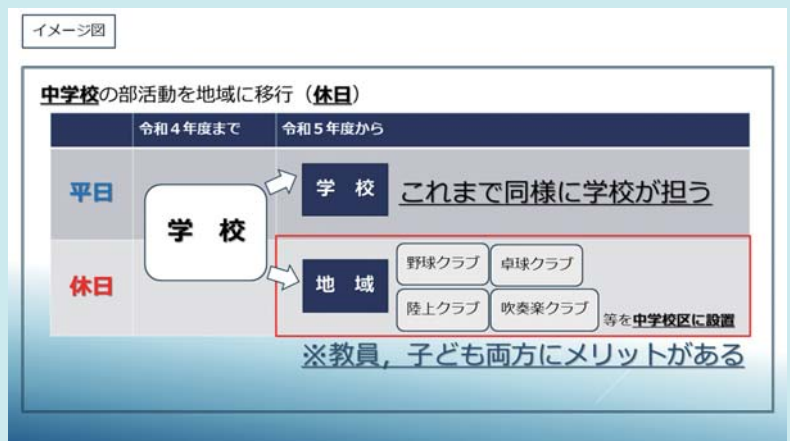


Q：全ての部活動が移行するのですか？

A：現在進めている改革では、平日についてはこれまで通り学校で部活動をおこない、**土日について地域移行を進めていきます**。そのため、土日に活動している部活を対象に移行していきますが、陸上部と吹奏楽は今年度は対象外になります。前者は部員数が多く指導者の確保が不十分なため、後者は校内のセキュリティが整っていないためです。

Q：現在と同様、土曜日または日曜日の3時間の活動になるのですか？

A：はい。事前にアンケートを実施したところ、6～7割の生徒が、土日のどちらかで3時間程度おこなうのがちょうどよいと回答しています。**活動の多様化**という子どもたちのニーズにも合致したものと いえます。



Q：どのように地域移行を進めていくのですか？

A：柏スポーツ文化推進協会(KSCA)が指導者の登録・研修や生徒の登録・参加費の徴収などを、一律に管理・運営していきます。KSCAが全体を統括することで、競技によって参加費用や活動内容に差が生じることがないようにコントロールすることができます。



Q: どのような方が指導をするのですか?

A: 6月上旬にKSCAと指導者が契約し、研修が始まっています。8月に2回ずつ無料の体験会を実施する予定なので、そこで指導の様子を見ることができます。また、指導者研修の内容はKSCAのホームページに掲載されているので、そちらもご参考になさってください。



Q: どのように登録するのですか?

A: KSCAのホームページから登録します。登録料や参加費用はクレジットで決済し、スケジュール管理はWebでおこなうので、基本的にはスマホで全て完結できます。活動日に指導者がWeb上で出欠を確認すると、保護者に到着を知らせるメールが自動的に届くようなシステムにもなっています。

Q: 一年間の費用を教えてください。

A: 年間登録料は5,000円、参加費用は毎月2,000円なので、年間費用は29,000円になります。ただし、今年度は、柏市の補助金が適用されるので、**困窮世帯は全額免除、その他の世帯は年間登録料の5,000円が免除**になります(9月開始につき、今年度の参加費用は7か月分の14,000円)。

Q: 試合の出場は、学校の部活と地域クラブのどちらからになりますか?

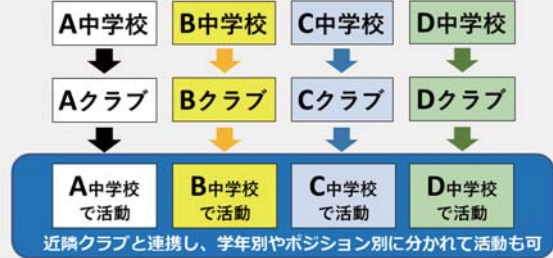
A: 総体や新人戦の出場規定は競技ごとに違うので、混乱を避けるため、**学校から出場することを基本**とします。単独のチームが組めない学校については、複数の合同チームで出場するなど、出場要件に合わせて編成して対応していきます。

Q: 地域移行のメリットは?

A: 子どもへのアンケートで「改善したいこと・期待したいこと」の回答の上位に、「試合にたくさん出場したい」というコメントが寄せられました。従来の部活動では、一年生の出場機会は限られていましたが、一年生専用の活動場所で練習し、一年生限定の試合に参加するなど、**学年やポジションごとに集合**することも可能になります。また、設置されている全てのクラブの中から参加するクラブを選択できるので、土日は自分の学校にない競技に参加したり、平日は文化部に所属して土日だけ運動クラブに参加したりすることも可能になります。

～クラブの構成～

近隣クラブと連携し、現状の部活動の構成に近い形でクラブを立ち上げる(大人数の部活が対象)



KSCA |

Q: 将来的なビジョンを教えてください。

A: 今後、地域の方のご協力をいただき、科学実験、英会話、和太鼓など、**文化クラブの選択肢も増や**していければと思います。将来的に小学生も参加できるようになれば、幅広い年代で交流ができ、中一ギャップ問題への解決策のひとつとなるかもしれません。

Q: 保護者が協力できることはありますか?

A: 例えば、テニスの球出しなど、各クラブの指導者をサポートするボランティアとして参加していただけたら、大変ありがたいです。また、地域企業と連携してプロスポーツチームのグラウンドで試合を開催したり、シニアと中学生が参加する卓球イベントを開催したりするなど、**地域企業との連携や地域の方々との交流**も進めていますので、**子どもを取り巻く環境整備に関心**を持っていただければと思います。地域で子どもを見守っていくのが最終的なゴールになりますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

参考

地域移行の仕組みについては「地域クラブ NET」、クラブ運用についてはKSCAのホームページをご参照ください。

地域クラブ NET



KSCA

